

陳 情 文 書 表 (令和8年6月29日定例会提出)

陳情第30号

森田一成議員の隠蔽行為、柿本元気議員の有権者侮辱及び議会の身内擁護体質の是正を求める陳情

令和8年6月26日受理

陳情者 ●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●

石 田 奈 緒

(陳情の趣旨)

現在、奈良市議会の一部のベテラン議員による、主権者たる市民を軽視した傲慢な言動や、自身の不祥事から逃亡・隠蔽を図る行為が相次いでおり、市民の政治不信は極限に達しています。本議会が抱えるこれら一連の腐敗や旧態依然とした体質は、奈良市だけの問題にとどまらず、日本全国の地方議会に蔓延する「身内のなれ合い」や「隠蔽体質」の縮図と言えます。

しかし、しがらみのないへずまりゅう（原田将大）議員の勇気ある実態告発により、これまで密室でなあなめに済まされてきた地方政治のゆがみが、今まさに全国の白日の下にさらされました。この透明化の動きは、全国の有権者にとって極めて意義深いものです。本議会がこれらを数合わせによってもみ消すことなく、公の機関として自浄作用を果たすよう、以下の問題点を指摘し、厳正な対処を強く求めます。

(陳情の項目)

1. 本会議中における居眠り行為が発覚した森田一成議員が、市民への公な説明や謝罪を一切行うことなく、自身の公式ホームページを閉鎖して逃げ回っている無責任な姿勢に対し、議会として猛省を促し、説明責任を果たさせること。
2. 森田一成議員が、自身の失態を隠蔽・正当化するために、他の同僚議員らに対して「へずまりゅう議員とは距離を置くように」と組織的な根回しや指示を行っているとする件について、議会の公平性をゆがめる不当な圧力行為として事実関係を厳査すること。
3. 柿本元気議員がSNS（X）上において、特定の議員に投票した有権者を「馬鹿扱い」した行為は、主権在民の原則を揺るがす「民主主義の否定」にほかならず、断じて容認できません。公然と市民を侮辱したことに対し、議員としての資質を問い、厳重な処分を行うこと。
4. 本陳情を「仲良しクラブ」的な隠蔽体質や数合わせでもみ消すことがないよう審議を透明化すること。あわせて、政務活動費を全額返納して身を切る改革を実行しているへずまりゅう議員の真摯な姿勢を見習うべきであり、大した活動もせず「新人いびり」に終始しながら、市民の血税である政務活動費をきっちり満額消化している質の低いベテラン議員らの実態についても、厳しくその使途と存在意義を糾弾すること。